

空港線

# 天神駅

Tenjin

**102,572人** 乗車人員第1位  
1日平均乗降人員(2020年度)

九州一の繁華街である天神の中心部に位置する駅。

曜日や時間帯を問わず、駅はビジネス客だけでなく、買い物客や観光客でにぎわっています。

- 天神駅は、西日本最大級の規模を誇る天神地下街の中心に位置し、地下回遊の拠点として、地下鉄乗降客に限らず、終日多くの人が行き交います。私鉄ターミナル駅や長距離バスのターミナルにも近接し、天神駅は、福岡市都市圏や九州各エリアとの交通結節拠点としての役割も担っています。
- 天神地区では、「天神ビッグバン」計画が進行中であり、付加価値の高いビルへの建替えが進み、ビジネスやショッピングの新たな空間が生まれ、天神駅の利用者の更なる増加が期待されます。
- 天神駅での広告展開は、アプローチする量と層の厚さで圧倒的な優位性を発揮し続けます。



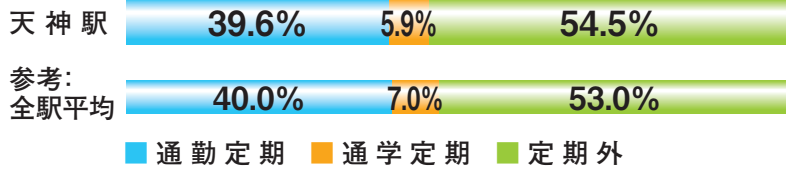
提供:福岡市  
多くの商業施設が建ち並びます。

## 天神駅周辺マップ

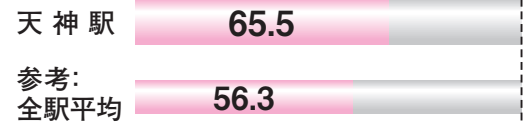


## 駅利用者データ

### 券種別利用割合



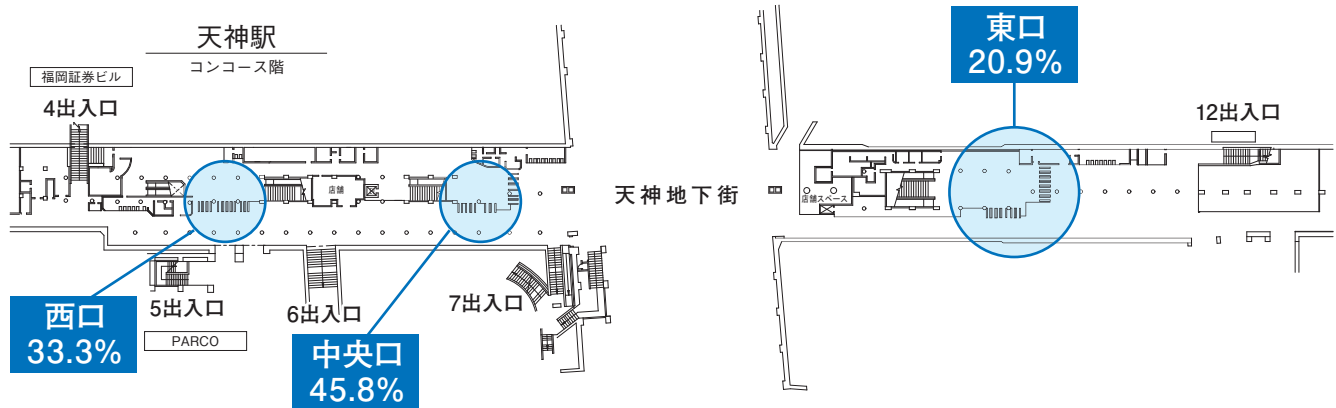
平日の乗降人員を100とした場合の  
土日休日の乗降人員指数



DATA: 2020年福岡市地下鉄改札機利用データから集計

- ◆定期券利用者は全駅平均と同水準の45.5%。天神駅の乗降人員は福岡市地下鉄の最大級であるため、45.5%であっても反復訴求に効果を発揮します。
- ◆曜日による乗降客数の変動が少ないことも特徴的です。週を通じた広告展開であっても、日々多くの乗降客にアプローチします。

## 改札口別乗降人員割合



## 七隈線 天神南駅 33,170人 乗車人員第4位

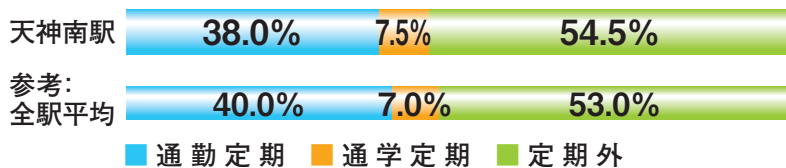
Tenjin-minami 1日平均乗降人員(2020年度)

天神駅と同じく天神地下街に直結する天神南駅は、七隈線におけるターミナル駅。2022年度に開業予定の七隈線の延伸により、博多駅やキャナルシティ博多とのアクセスが飛躍的に向上し、さらなる利用者増が見込まれます。

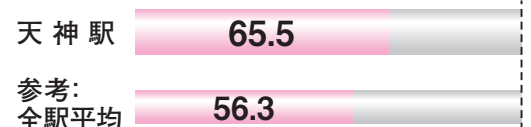
- 天神南駅構内は、間接照明やガラス面の多さ、白いタイルが特徴の洗練されたデザインとなっており、広告がより映えます。

## 駅利用者データ

### 券種別利用割合



平日の乗降人員を100とした場合の  
土日休日の乗降人員指数



DATA: 2020年福岡市地下鉄改札機利用データから集計

- ◆七隈線沿線には、福岡大学をはじめとした私立大学があり、ターミナル駅である天神南駅では、通学定期の割合が高くなっています。
- ◆天神地区へのショッピング客も多いことで、平日に比べて土休日の乗降客数の落ち込みが比較的少ない特徴もあります。

空港線

# 博多駅

Hakata

**92,202人** 乗車人員第2位  
1日平均乗降人員(2020年度)

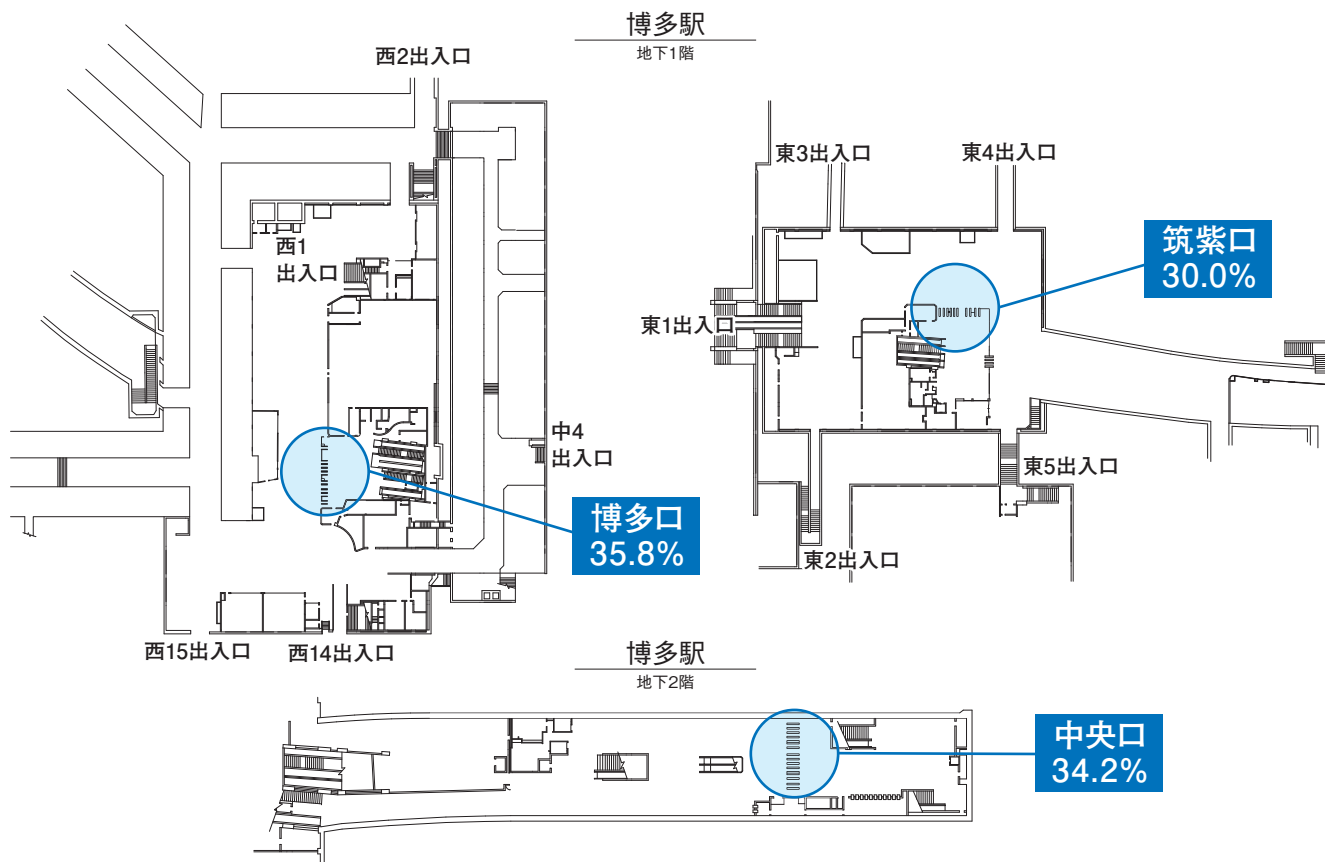
ビジネス、ショッピング、観光の拠点である博多駅地区。その中心部にある博多駅は、天神駅に次いで第2位の乗降客数。大規模な広告展開に最適です。

- 地下鉄博多駅の上階にあるJR博多駅は、在来線のほか、山陽新幹線・九州新幹線も乗り入れる巨大ターミナル駅です。
- 近年は、JR博多駅の駅ビルリニューアルやKITTE博多の開業により、ショッピングの街としての顔も持ち始めるとともに、宿泊施設が増加し、多くの観光客が行き交います。
- 2022年度には七隈線が博多駅まで延伸し、「博多コネクティッド」計画により博多駅周辺ビルの建替えも進行中であり、更なる発展が期待されるエリアです。



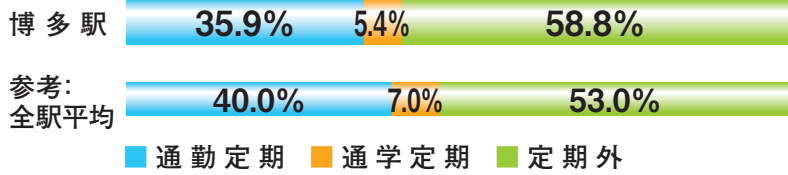
大型商業施設JR博多シティと直結しています。

## 改札口別乗降人員割合

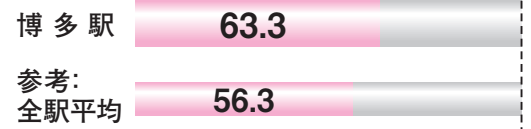


## 駅利用者データ

### 券種別利用割合



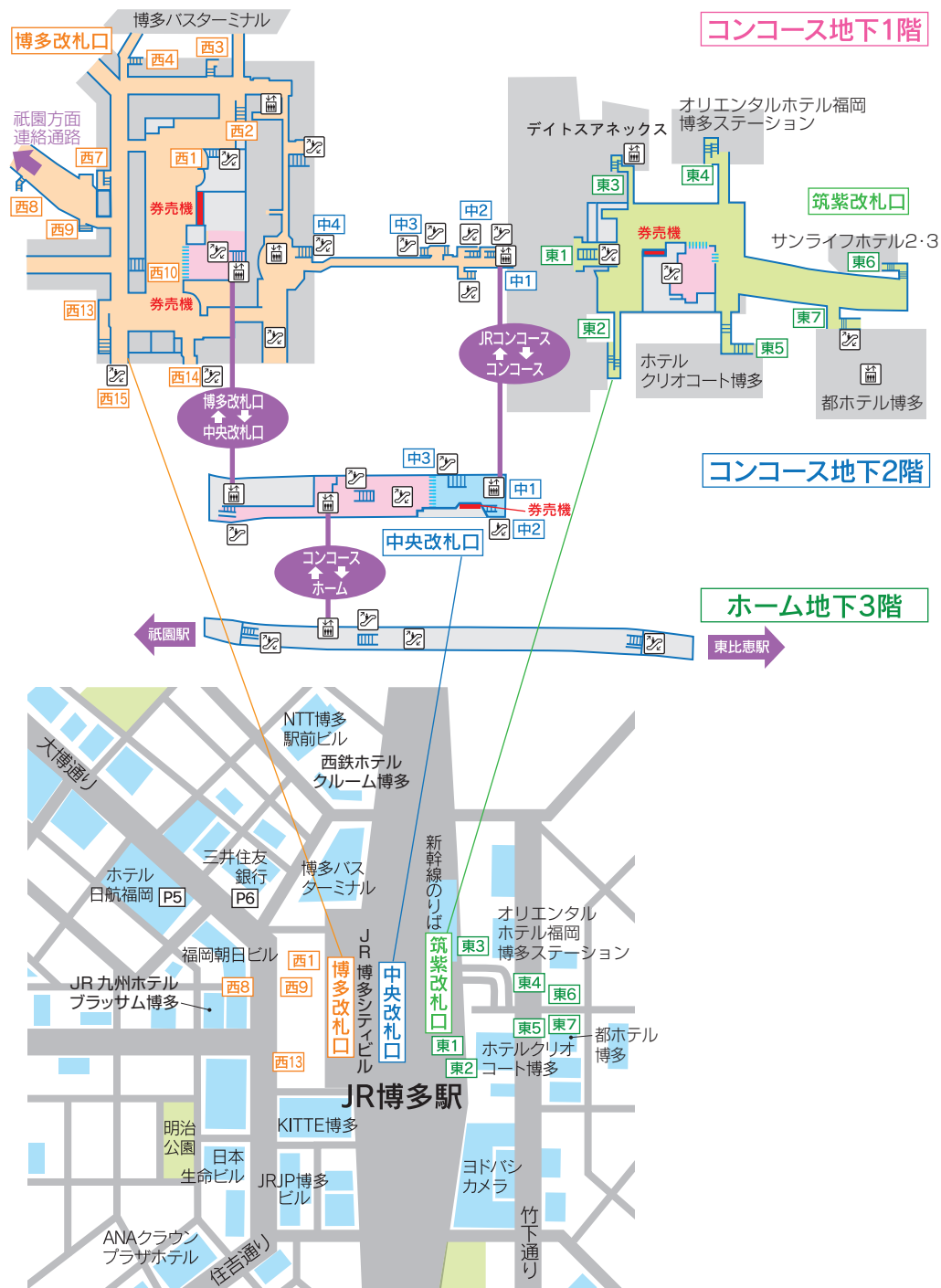
平日の乗降人員を100とした場合の  
土休日の乗降人員指数



DATA: 2020年福岡市地下鉄改札機利用データから集計

- ◆ 定期外の乗降客が約6割を占めていることが特徴的で、観光客やショッピング客の多さが一つの要因となっています。
- ◆ 曜日による乗降客数の変動が少ないことも特徴的です。週を通じた広告展開であっても、日々多くの乗降客にアプローチします。

## 博多駅周辺マップ



空港線

# 西新駅

Nishijin

## 31,712人

乗車人員第5位  
1日平均乗降人員(2020年度)

福岡市西部の拠点「西新」の中心地に位置する駅です。駅周辺は高校・大学・専門学校が集積する文教地区であるとともに、集合住宅を中心とした居住者も多く、レギュラーでの利用者がメインとなる駅です。

- 西新駅は、西南学院高校・大学、福岡国際医療福祉大学、修猷館高校に近く、学生をターゲットにした広告展開に効果的です。
- 2019年には駅直結の大規模商業施設「プラリバ」が開業。2021年には福岡市地下鉄初の駅直結タワーマンションも完成。
- 周辺には福岡市を代表する活気あふれる西新商店街があり、商業の街として賑わいます。



西新駅と直結する商業施設「プラリバ」

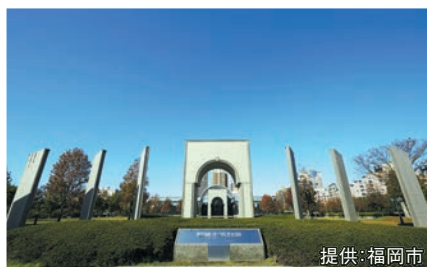
### エリア特徴(半径500m圏居住者特性)

- ・人口13,412人・駅周辺の居住者人口構成では、20～50歳が多い。・昼間人口は15～24歳が多い。
  - ・単身者比率が高め(一世帯1.71人)。・年間消費支出額266万円
- DATA:2018年福岡市交通局実施「地下鉄駅ナカビジネスマーケティング調査」

### 駅周辺施設



西新商店街



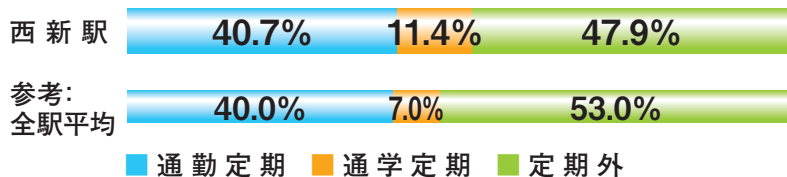
福岡市博物館



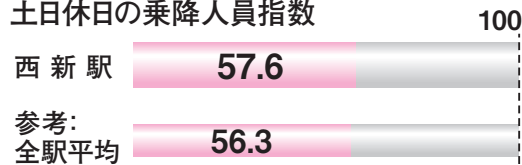
福岡タワー

### 駅利用者データ

#### 券種別利用割合



#### 平日の乗降人員を100とした場合の 土日休日の乗降人員指数



DATA: 2020年福岡市地下鉄改札機利用データから集計

- ◆通勤定期の利用割合の高さだけでなく、通学定期の利用割合が多いことが特徴的です。
- ◆定期券による利用割合が高い分、平日に比べ土日休日の乗降人員の低下が顕著ですが、駅周辺には福岡市博物館や福岡タワーなどの観光スポットがあるため、家族連れやカップル、観光客など、幅広い層が訪れ、駅の利用目的が多岐にわたります。

# 空港線 福岡空港駅

Fukuoka Airport

**24,974人** 乗車人員第6位  
1日平均乗降人員(2020年度)

## 地下鉄駅が空港ターミナルビルに直結する 国内唯一の駅。

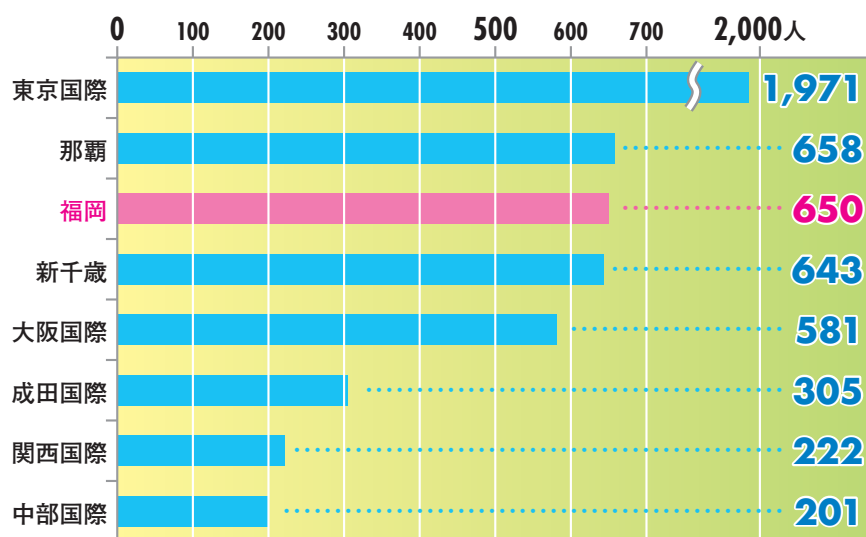
○福岡空港駅から、福岡市の商業・観光の拠点である博多駅や天神駅まで乗り換えなしというアクセスの良さから、空港を利用する多くのお客様に福岡空港駅は利用されています。

ビジネスパーソンや旅行客をターゲットをとした広告展開に高い効率性を発揮します。

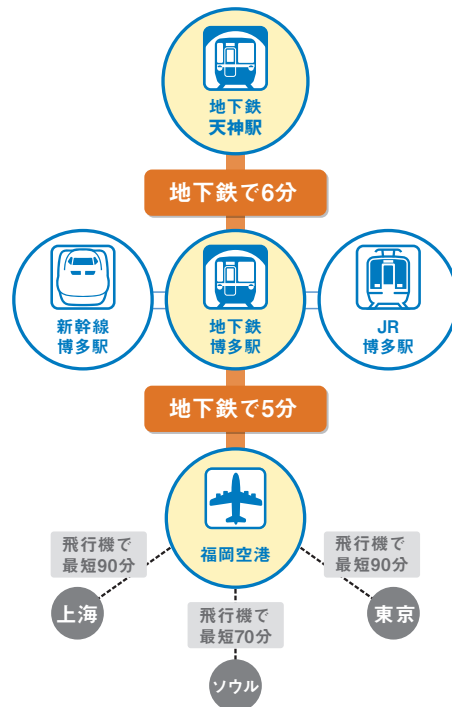


地下鉄改札と空港ビルが直結しています。

### 空港別 乗降客数 (2020年)

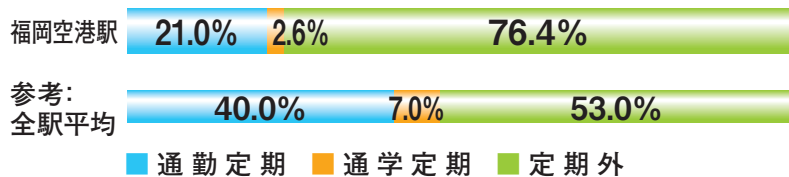


資料:国土交通省「空港管理状況調査」※国際線及び国内線の乗降客数の合計

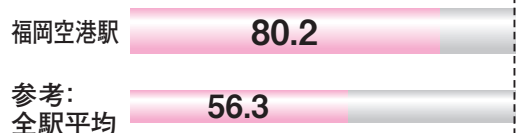


### 駅利用者データ

#### 券種別利用割合



#### 平日の乗降人員を100とした場合の 土日休日の乗降人員指数



DATA: 2020年福岡市地下鉄改札機利用データから集計

- ◆乗降客の84.6%が定期外のお客様と、他の駅にはない特色を持ちます。ビジネスや観光に特化した都度利用の駅ということを表しています。
- ◆定期券によるご利用の割合が低い分、曜日による乗降客数に変動が極めて小さいことも特徴的です。ホームドアステッカーやエスカレーター横壁面ステッカーなど、1週間を掲出期間とする広告商品であっても、曜日を問わず多くの人にアプローチすることが可能です。

空港線

# 姪浜駅

Meinohama

33,528人 乗車人員第3位  
1日平均乗降人員(2020年度)

○福岡市地下鉄での始端駅で、駅舎は地上にあります。JR筑肥線との乗り換えや、駅前にはバスターミナルもあり、通勤利用者の圏域が広いことも特徴です。

## エリア特徴(半径500m圏居住者特性)

- ・人口13,648人・30代~50代中心・2人以上世帯率が高め(一世帯1.98人)
- ・昼間人口は60代以上がやや高め・年間消費支出額287万円 DATA:2018年福岡市交通局実施「地下鉄駅ナカビジネスマーケティング調査」

## 駅利用者データ

### 券種別利用割合



■ 通勤定期 ■ 通学定期 ■ 定期外

平日の乗降人員を100とした場合の  
土日休日の乗降人員指数



DATA: 2020年福岡市地下鉄改札機利用データから集計

- ◆通勤定期の利用割合が他駅よりも際立って高いことが特徴的です。姪浜駅では、ビジネスパーソンに向けた効果的な情報発信を期待することができます。
- ◆平日に比べた土休日の乗降客数の減少幅が比較的大きい傾向もありますが、姪浜駅コンコースは、線路の南北を通り抜ける通路としての役割もあり、地下鉄乗降客に限らず近隣居住者など幅広い層にアプローチが可能です。

空港線

# 藤崎駅

Fujisaki

18,614人  
1日平均乗降人員(2020年度)

○区役所・税務署・警察署・保健所と、駅周辺には公共機関・施設が集積しています。  
○西鉄藤崎バスセンターに直結し、近隣住宅エリアとの交通結節駅となっています。

## エリア特徴(半径500m圏居住者特性)

- ・人口14,879人・40代~50代中心・2人以上世帯率が高め(一世帯2.01人)・昼間人口は60代以上がやや高め
- ・年間消費支出額286万円 DATA:2018年福岡市交通局実施「地下鉄駅ナカビジネスマーケティング調査」

## 駅利用者データ

### 券種別利用割合



■ 通勤定期 ■ 通学定期 ■ 定期外

平日の乗降人員を100とした場合の  
土日休日の乗降人員指数



DATA: 2020年福岡市地下鉄改札機利用データから集計

- ◆通勤定期の利用割合が他駅よりも高いことが特徴的です。藤崎駅での広告展開により、駅周辺に居住するビジネスパーソンをターゲットとした反復訴求が期待できます。

# 空港線 唐人町駅 15,738人

Tojinmachi 1日平均乗降人員(2020年度)

- 福岡ソフトバンクホークスのホームグラウンド「福岡PayPayドーム」の最寄駅。試合開催日とドームコンサートの日には乗降客が大幅に増加します。
- 2018年には、駅からドームまでの間に大規模商業施設「マークイズ福岡ももち」が開業し、土休日乗降客数がさらに増加しています。
- 2020年には、ドーム付近に複合エンターテインメントゾーン「イーズフクオカ」やタワーマンションも完成し、さらなる賑わいが期待できます。

## エリア特徴(半径500m圏居住者特性)

- ・人口12,419人・20代~40代中心・単身層比率が高め(一世帯1.70人)・昼間人口は10代が高め
- ・年間消費支出額250万円 DATA:2018年福岡市交通局実施「地下鉄駅ナカビジネスマーケティング調査」

## 駅利用者データ

### 券種別利用割合



■ 通勤定期 ■ 通学定期 ■ 定期外

### 平日の乗降人員を100とした場合の 土日休日の乗降人員指数



DATA: 2020年福岡市地下鉄改札機利用データから集計

- ◆定期券以外の乗降客が他駅に比べてやや高い特徴があります。
- ◆平日に比べて土休日の乗降客数の方が多いという特異性があります。ドームやマークイズなどのエンタメ施設の利用客に向けた広告展開に効果が期待できます。

# 空港線 大濠公園駅 16,110人

Ohori Park 1日平均乗降人員(2020年度)

- 福岡市を代表する観光地である「大濠公園」、福岡城址を含めた「舞鶴公園」の最寄駅です。
- 大濠公園内には、2019年にリニューアルした福岡市美術館もあり、観光客が訪れる定番コースになっています。

## エリア特徴(半径500m圏居住者特性)

- ・人口11,360人・20代~30代中心・単身層比率が高め(一世帯1.54人)・昼間人口は50代~60代以上がやや高め
- ・年間消費支出額257万円 DATA:2018年福岡市交通局実施「地下鉄駅ナカビジネスマーケティング調査」

## 駅利用者データ

### 券種別利用割合



■ 通勤定期 ■ 通学定期 ■ 定期外

### 平日の乗降人員を100とした場合の 土日休日の乗降人員指数



DATA: 2020年福岡市地下鉄改札機利用データから集計

- ◆駅周辺には単身層向けの集合住宅も多いことで、通勤定期の利用割合が全駅平均よりも高くなっています。
- ◆土休日の利用率は全駅平均と比べて大きな差はなく、公園や美術館へのお客様による駅利用が土休日のメイン層になっています。



空港線

# 赤坂駅

Akasaka

24,506人

1日平均乗降人員(2020年度)

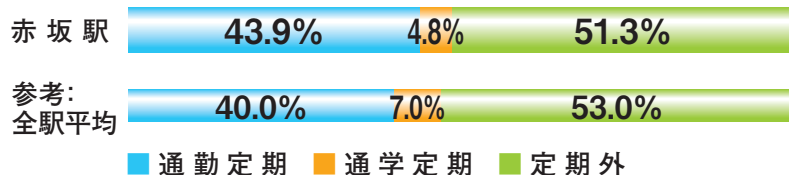
- 天神オフィス圏に隣接し、駅周辺は福岡を代表する飲食店が多数あり、夜も賑わいます。
- 赤坂駅近くの旧大名小学校跡地では、2022年度にハイグレードホテルや商業施設を含む大型総合施設が開業予定であり、駅を中心にタワーマンションの建設が相次いでいます。

## エリア特徴(半径500m圏居住者特性)

- ・人口10,259人・20代~40代中心・単身層比率がやや高め(一世帯1.45人)・昼間人口は30代~50代がやや高め
- ・年間消費支出額249万円 DATA:2018年福岡市交通局実施「地下鉄駅ナカビジネスマーケティング調査」

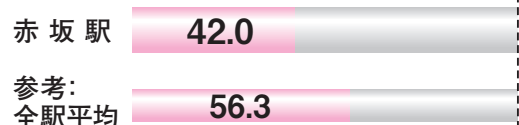
## 駅利用者データ

### 券種別利用割合



平日の乗降人員を100とした場合の  
土日休日の乗降人員指数

100



DATA: 2020年福岡市地下鉄改札機利用データから集計

◆駅周辺のオフィスへの通勤利用が多く見られ、通勤定期の利用割合の高さに表れています。

空港線

# 祇園駅

Gion

10,250人

1日平均乗降人員(2020年度)

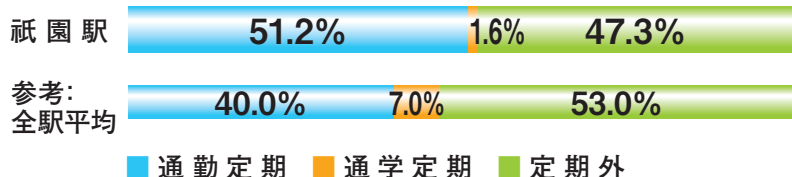
- 駅周辺や博多駅周辺のオフィス街から徒歩圏内にあり、通勤客がメインとなる駅です。
- 歴史ある寺社が連なる「博多旧市街(オールドタウン)」として福岡の旅がより一層深まるエリアとして注目され、近年観光客も増加しています。

## エリア特徴(半径500m圏居住者特性)

- ・人口6,958人・20代が高め・単身層比率が高め(一世帯1.25人)・昼間人口は30代~50代が中心
- ・年間消費支出額230万円 DATA:2018年福岡市交通局実施「地下鉄駅ナカビジネスマーケティング調査」

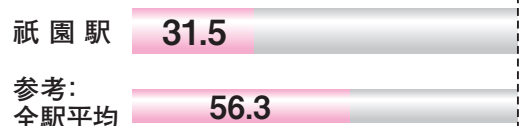
## 駅利用者データ

### 券種別利用割合



平日の乗降人員を100とした場合の  
土日休日の乗降人員指数

100



DATA: 2020年福岡市地下鉄改札機利用データから集計

◆駅周辺のオフィスへの通勤利用が多く見られ、通勤定期の利用割合の高さに表れています。

# 空港線 東比恵駅 18,448人

Higashi-Hie 1日平均乗降人員(2020年度)

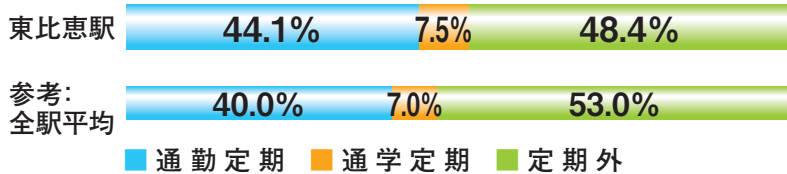
- 博多駅・福岡空港駅の中間にあり、周辺はオフィスと居住が混在するエリアです。
- 2021年には、徒歩圏内に西日本最大の民設コンベンション施設「博多国際展示場&カンファレンスセンター」がオープンしました。

## エリア特徴(半径500m圏居住者特性)

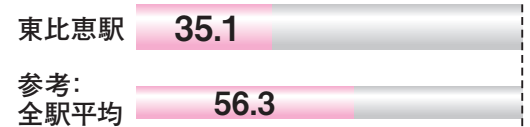
- ・人口7,040人・20代~30代中心・単身層比率が高め(一世帯1.37人)・昼間人口は男性10代,40代~50代がやや高め
- ・年間消費支出額242万円 DATA:2018年福岡市交通局実施「地下鉄駅ナカビジネスマーケティング調査」

## 駅利用者データ

### 券種別利用割合



平日の乗降人員を100とした場合の  
土日休日の乗降人員指数



DATA: 2020年福岡市地下鉄改札機利用データから集計

- ◆駅周辺のオフィスへの通勤利用が多く見られ、通勤定期の利用割合の高さに表れています。
- ◆学生定期の利用割合が低い傾向にありますが、近隣には私立中・高校や専門学校があり、朝・夕は学生で賑わいます。

# 空港線 箱崎線 中洲川端駅 20,534人

Nakasukawabata 1日平均乗降人員(2020年度)

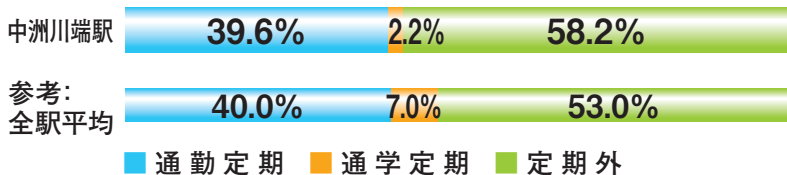
- 九州を代表する歓楽街、中洲の最寄駅。アジア美術館、博多座が駅に接続しています。
- 駅周辺の複合商業施設「キャナルシティ博多」や川端商店街は観光客で賑わいます。
- 全国的にも有名な「博多どんたく」や「博多祇園山笠」は、中洲川端駅周辺のエリアで開催されます。

## エリア特徴(半径500m圏居住者特性)

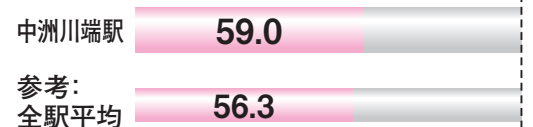
- ・人口7,839人・20代~30代がやや高め・単身層比率が高い(一世帯1.29人)・昼間人口は30代~50代が中心
- ・年間消費支出額233万円 DATA:2018年福岡市交通局実施「地下鉄駅ナカビジネスマーケティング調査」

## 駅利用者データ

### 券種別利用割合



平日の乗降人員を100とした場合の  
土日休日の乗降人員指数



DATA: 2020年福岡市地下鉄改札機利用データから集計

- ◆駅周辺施設を目的地としたレジャー・買物客が多いことで、定期外の利用割合が全駅平均よりも高く、平日に比した土休日の利用割合も全駅平均よりも高くなっています。幅広い層をターゲットとした広告展開に効果が期待されます。

# 箱崎線 馬出九大病院前駅 10,178人

Maidashi-Kyudaibyoinmae 1日平均乗降人員(2020年度)

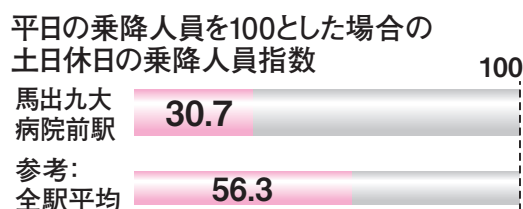
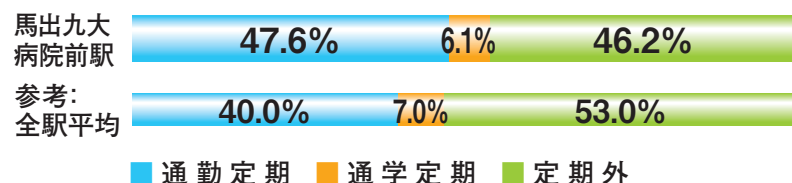
- 箱崎線では乗降人員が貝塚に次ぐ2位の駅です。
- 九州大学病院及び福岡県庁の最寄駅であり、天神・博多までの乗車時間は10分以内と好立地のため、若いビジネスパーソンが居住地として注目するエリアです。

## エリア特徴(半径500m圏居住者特性)

- ・人口7,315人 ・居住者は20代が中心 ・単身層比率が高い(一世帯1.43人) ・昼間人口は30代~50代がやや高め
- ・年間消費支出額246万円 DATA:2018年福岡市交通局実施「地下鉄駅ナカビジネスマーケティング調査」

## 駅利用者データ

### 券種別利用割合



DATA: 2020年福岡市地下鉄改札機利用データから集計

- ◆福岡県庁・九大病院への通勤利用により、定期券利用割合が全駅平均よりも高くなっています。
- ◆ビジネスパーソンにターゲットを絞った情報発信に効果が期待できます。

# 七隈線 福大前駅 6,080人

Fukuoka University 1日平均乗降人員(2020年度)

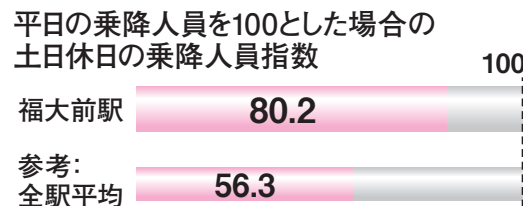
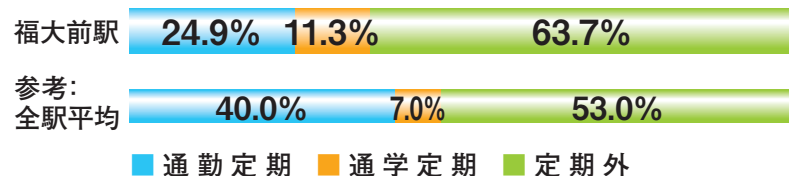
- 西日本最大級の学生数を誇る私立大学「福岡大学」の最寄駅です。
- 福岡大学病院と駅が直結し、大学生だけでなく、病院関係のお客様にも利便性が高い駅です。

## エリア特徴(半径500m圏居住者特性)

- ・人口4,148人 ・駅周辺の居住者人口構成では15歳~24歳が突出 ・単身層比率が高い(一世帯1.37人) ・昼間人口は15歳~24歳に偏り
- ・年間消費支出額237万円 DATA:2018年福岡市交通局実施「地下鉄駅ナカビジネスマーケティング調査」

## 駅利用者データ

### 券種別利用割合



DATA: 2020年福岡市地下鉄改札機利用データから集計

- ◆福岡大学の学生の利用が中心であるため、通学定期の利用割合が高くなっています。

# 七隈線 六本松駅 10,786人

Ropponmatsu 1日平均乗降人員(2020年度)

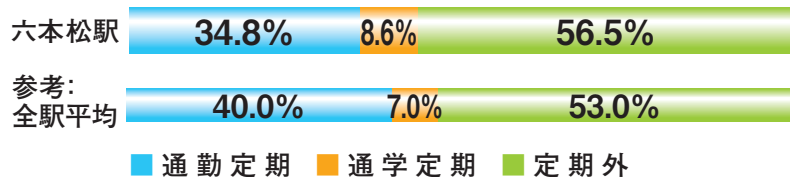
- 福岡市科学館と商業施設が入居する「六本松421」と直結する駅です。
- 裁判所・検察庁や大規模マンションも立地し、福岡市地下鉄の中では、乗降客数の伸びが際立つ駅です。

## エリア特徴(半径500m圏居住者特性)

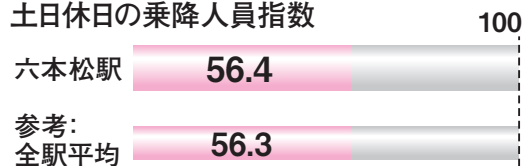
- ・人口12,696人・居住者は20代~40代中心・単身層比率が高め(一世帯1.73人)・昼間人口は10代がやや高め
- ・年間消費支出額269万円 DATA:2018年福岡市交通局実施「地下鉄駅ナカビジネスマーケティング調査」

## 駅利用者データ

### 券種別利用割合



### 平日の乗降人員を100とした場合の 土日休日の乗降人員指数



DATA: 2020年福岡市地下鉄改札機利用データから集計

- ◆近隣には私立高校があることで、通学定期の利用割合が若干高くなっています。
- ◆科学館と商業施設があることで、平日に比べた土休日の利用割合が、全駅平均よりも高くなっています。

# 七隈線 薬院駅 13,436人

Yakuin 1日平均乗降人員(2020年度)

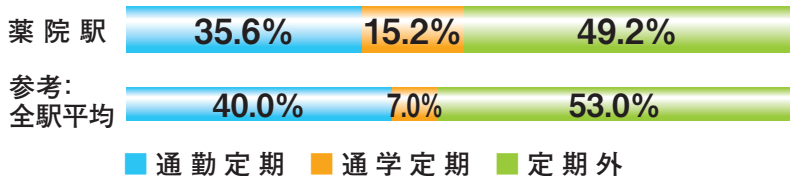
- 七隈線と西鉄天神大牟田線の結節点であり、大学生を中心に、多くのお客様が薬院駅で乗り換えています。
- 今後七隈線の延伸により、薬院駅から博多・福岡空港までの移動が便利になることで、駅周辺からの通勤客の増加が期待されます。

## エリア特徴(半径500m圏居住者特性)

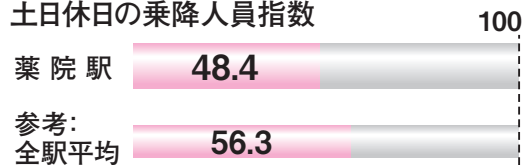
- ・人口17,974人・20代~30代が中心・単身層比率が高め(一世帯1.42人)・昼間人口は35歳~64歳高め
- ・年間消費支出額246万円 DATA:2018年福岡市交通局実施「地下鉄駅ナカビジネスマーケティング調査」

## 駅利用者データ

### 券種別利用割合



### 平日の乗降人員を100とした場合の 土日休日の乗降人員指数



DATA: 2020年福岡市地下鉄改札機利用データから集計

- ◆西鉄天神大牟田線から、七隈線沿線の大学に通う学生の多さが、通学定期の利用割合の高さに表れています。
- 七隈線沿線大学:福岡大学・中村学園大学(短期大学)・福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短大